

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)

【公開番号】特開 2000-202114 (P2000-202114A)
 【公開日】平成 12 年 7 月 25 日 (2000.7.25)
 【出願番号】特願 平 10-354353
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

A 6 3 F 7/02 3 0 5 B

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】パチンコ機の裏面に配設される機構板に設けられた球タンクから球払出装置にパチンコ球を整列して導く球供給通路を有するパチンコ機の球誘導樋において、前記球供給通路の通路幅を パチンコ球が 2 個並ばない程度でジグザグ状に並ぶ幅広としたことを特徴とするパチンコ機の球誘導樋。

【請求項 2】球タンクの底壁に開設された開口に前記球供給通路を形成したことを特徴とする請求項 1 記載のパチンコ機の球誘導樋。

【請求項 3】前記供給通路の上面を拡開開放したことを特徴とする請求項 1 または 2 記載のパチンコ機の球誘導樋。

【請求項 4】前記供給通路を仕切壁により複数設けると共に、該仕切壁を高くして互いの球供給通路のパチンコ球の干渉を受けないようにしたことを特徴とする請求項 1、2 または 3 記載のパチンコ機の球誘導樋。

【請求項 5】前記供給通路の底壁を断面山形にしたことを特徴とする請求項 1 ないし 4 記載のパチンコ機の球誘導樋。

【請求項 6】前記供給通路に異傾の傾斜通路部を設けて段状にしたことを特徴とする請求項 1 ないし 5 記載のパチンコ機の球誘導樋。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明に係るパチンコ機の球誘導樋は、パチンコ機の裏面に配設される機構板に設けられた球タンクから球払出装置にパチンコ球を整列して導く球供給通路を有するパチンコ機の球誘導樋において、前記球供給通路の通路幅を パチンコ球が 2 個並ばない程度でジグザグ状に並ぶ幅広とし、補助通路を兼ねるようにした。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、球タンクの底壁に開設された開口に前記球供給通路を形成した。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

また、球供給通路20の通路幅 w を広くすることで、重なるパチンコ球の高さが低くなるため、球誘導樋9を上方に上げることができ、それに伴い窓部7を大きくすることができる。このため、パチンコ機の遊技内容が高度化し、可変表示装置6やその遊技内容を制御する回路基板が大きくなり、それに伴ってその回路基板を収納する基板ボックス4が大きくなっても十分に対応できる。なお、本実施の形態では球供給通路の通路幅 w を約20mmとして説明したが、13mmからパチンコ球が2個並ばない程度の範囲内であればよい。